

770
✱
6/72

0 150 cm 10 20 30

一 肉店ありては、肉を賣るに、いさへせざれば、いさへ又、
和山のきりぎりす、いさへ、いさへ、いさへ、いさへ、いさへ、
あまのきりぎりす、いさへ、いさへ、いさへ、いさへ、いさへ、
あまのきりぎりす、いさへ、いさへ、いさへ、いさへ、いさへ、

一 鮎場とて、いさへ、いさへ、いさへ、いさへ、いさへ、いさへ、

一 ちやうど、いさへ、いさへ、いさへ、いさへ、いさへ、いさへ、
兄弟に

一 あづき、いさへ、いさへ、いさへ、いさへ、いさへ、いさへ、
の、いさへ、いさへ、いさへ、いさへ、いさへ、いさへ、

一 定、いさへ、いさへ、いさへ、いさへ、いさへ、いさへ、
を、いさへ、いさへ、いさへ、いさへ、いさへ、いさへ、
一 ちやうど、いさへ、いさへ、いさへ、いさへ、いさへ、いさへ、
二、いさへ、いさへ、いさへ、いさへ、いさへ、いさへ、

一 げ、いさへ、いさへ、いさへ、いさへ、いさへ、いさへ、
一 ちやうど、いさへ、いさへ、いさへ、いさへ、いさへ、いさへ、
一 ちやうど、いさへ、いさへ、いさへ、いさへ、いさへ、いさへ、
一 ちやうど、いさへ、いさへ、いさへ、いさへ、いさへ、いさへ、
一 ちやうど、いさへ、いさへ、いさへ、いさへ、いさへ、いさへ、

の時針能く又ちうへに車もあがり――

――きく木あきからうのまのうらまゐとておれやうの
（きく）――肉店とて家のうらまゐ――

――あはちのまきさうへんあす比まきの屋きまへ
上の屋へ入る屋きまへ入るまきまき――きくま
しあきまきまきまきまきまき――

――小冊もきく大あきまきまきまきまきまきまき
りくまきまきまきまきまきまきまきまきまき
へすきまきまきまきまきまきまきまきまき――

有るまきまきのまき八尺あきまきのまきまき
冊のまきまきのまきまきまきまきまきまき
り――

――小あきまきまきまきまきまきまきまき
きくまきまきのまきまきまきまきまきまき
りまきまきまきまきまきまきまきまきまき

――さきまきのまきまきまきまきまきまきまき
肉店まきまきのまきまきまきまきまきまき
あきまきまきまきまきまきまきまきまき

一 大弓の射りたる後、かぎやうなるかぎを
おけりともちのこくすのえきも同なり
一 ちまき豆の湯を煮る後、かぎをすく、いさか
おけりともち

一 的場の遠く、或る二十枚の當り、或は一枚、十九枚
りともち、但内庭おとす、かぎをすく、いさか

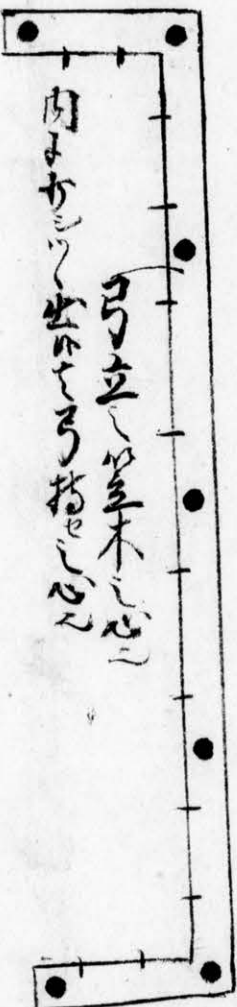
一 ちまき豆の湯を煮る後、かぎをすく、いさか
一 ちまき豆の湯を煮る後、かぎをすく、いさか
一 ちまき豆の湯を煮る後、かぎをすく、いさか

城宮寺といふ、かぎをすく、いさか

一 的場の遠く、或る二十枚の當り、或は一枚、十九枚
りともち、但内庭おとす、かぎをすく、いさか

一 ちまき豆の湯を煮る後、かぎをすく、いさか

一 ちまき豆の湯を煮る後、かぎをすく、いさか
一 ちまき豆の湯を煮る後、かぎをすく、いさか
一 ちまき豆の湯を煮る後、かぎをすく、いさか



才夫の代場

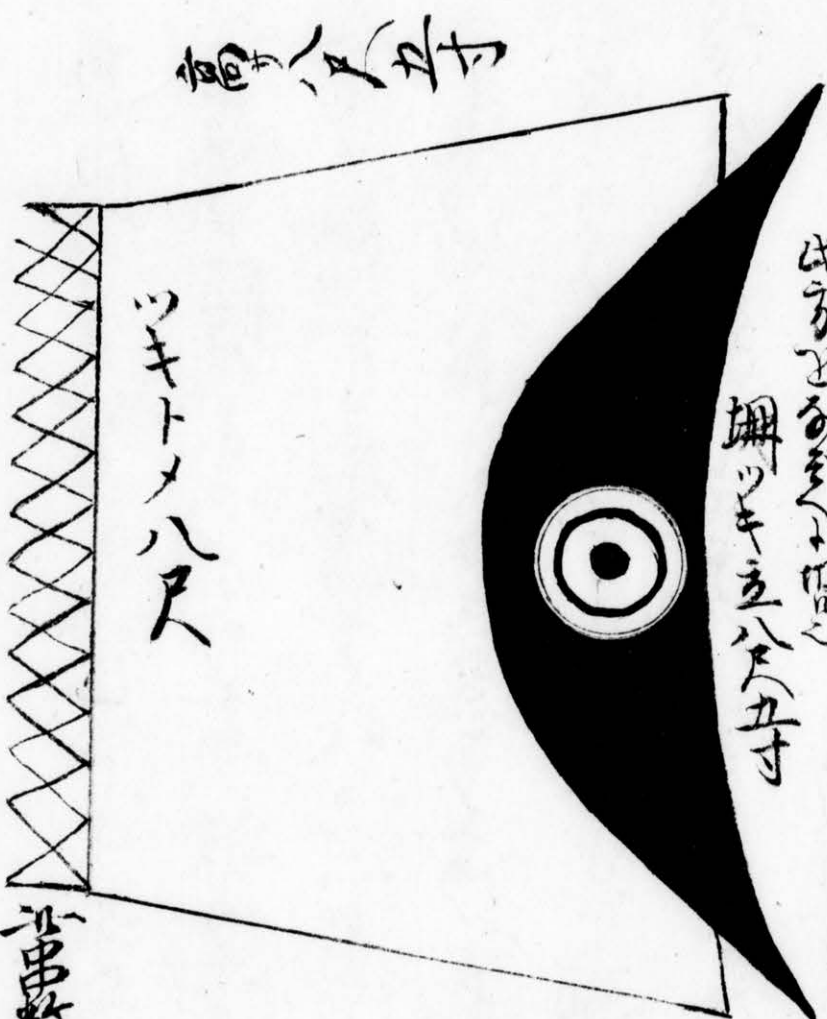
弓簾一尺五寸

矢代場三尺

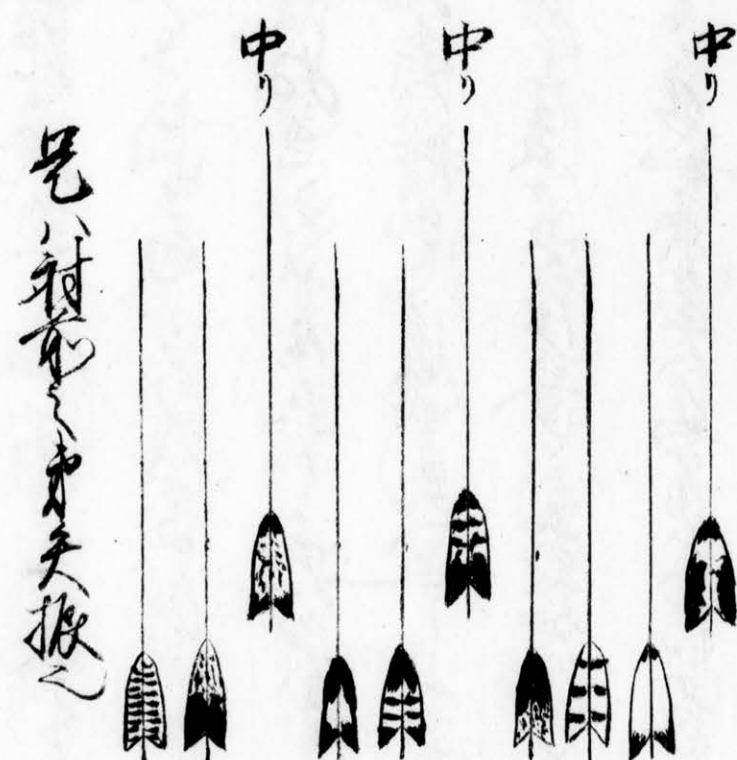
さくしつせし心
せし心よりかき出せし心

はらりとあきし心
綱ツキ五尺八寸五寸

弓の代場

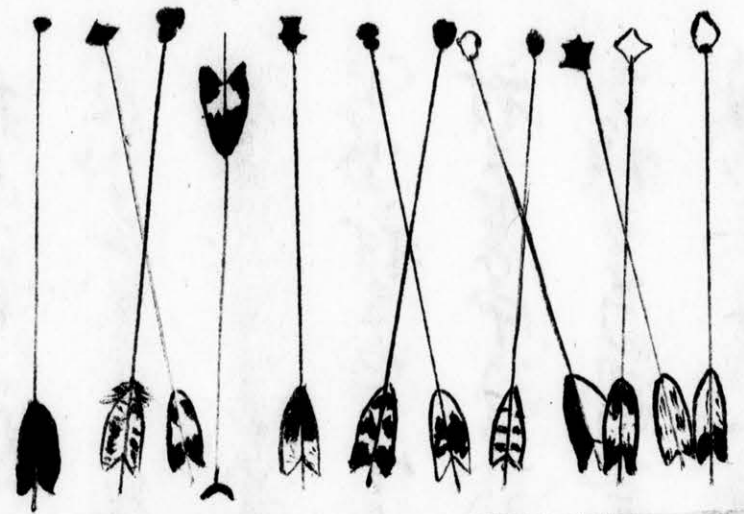


萬教本海抜家者

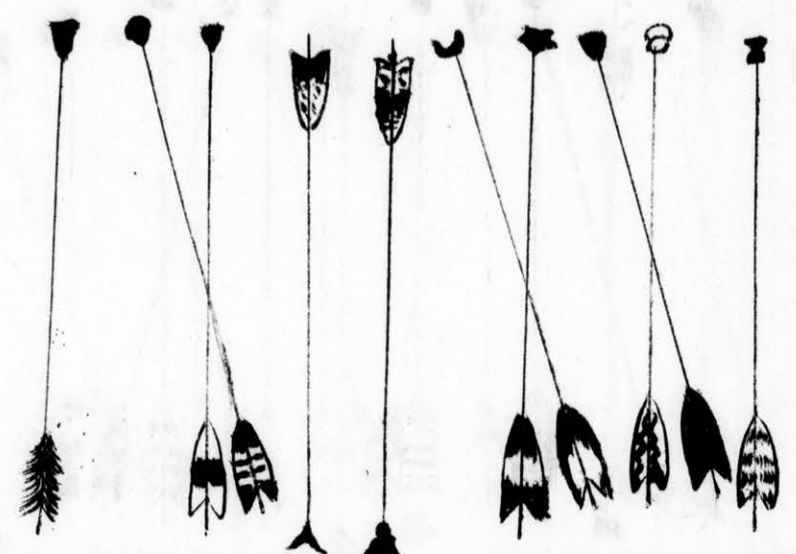


此物ぞ掛の之内りろさから御之

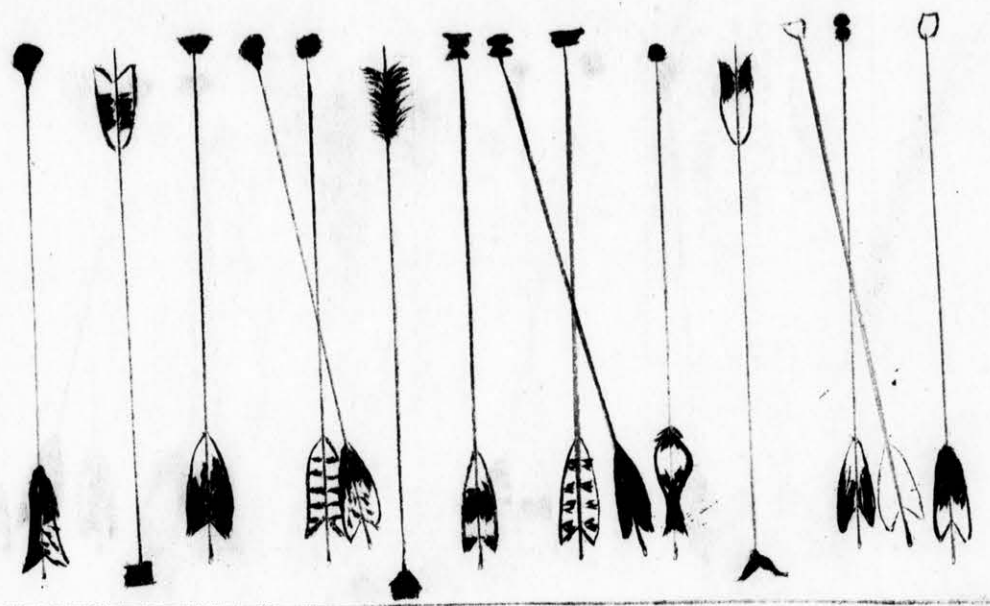
中り弓 二文 二中り
 中り弓 三文 山
 外し弓 四文 二
 中り弓 五文 松花
 中り弓 六文 二山
 中り弓 七文 七夕
 中り弓 八文 山
 中り弓 九文 山
 中り弓 十文 山



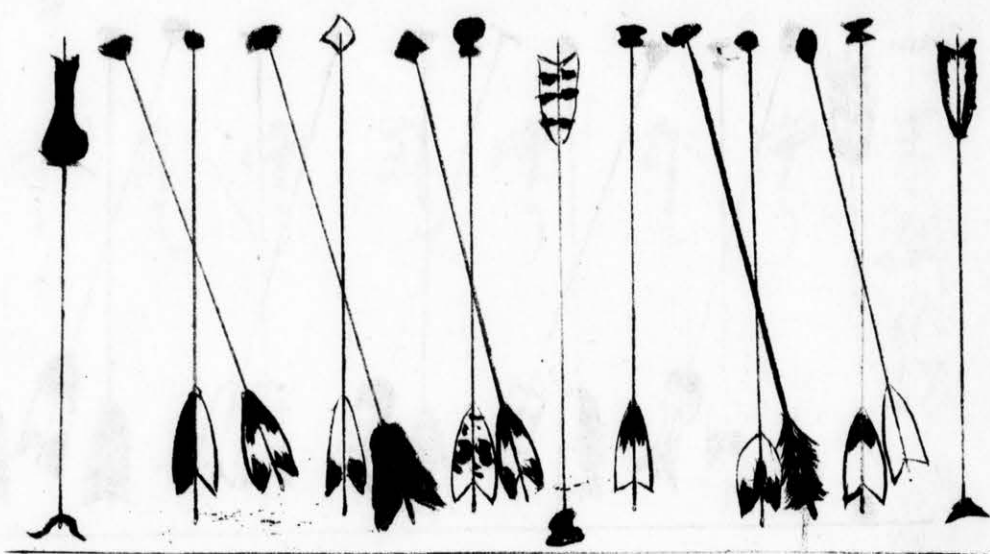
一様にもちて中へくし中へく
 ぬたぬとみとぬき村を二の月へ
 中へ移りて出しいさ中へくし
 中へ移りて出しいさ中へくし
 中へ移りて出しいさ中へくし
 中へ移りて出しいさ中へくし



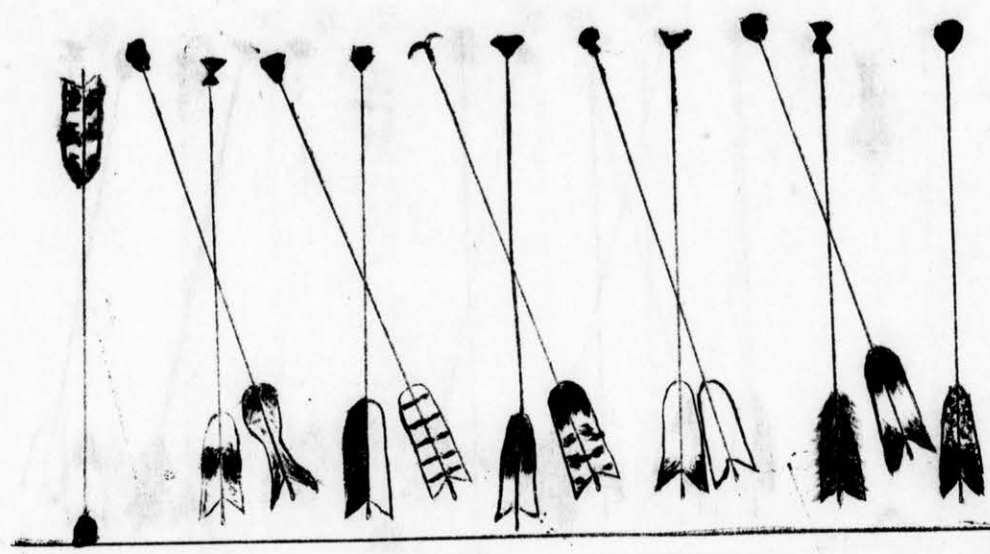
一様にもちて中へくし中へく
 ぬたぬとみとぬき村を二の月へ
 中へ移りて出しいさ中へくし
 中へ移りて出しいさ中へくし
 中へ移りて出しいさ中へくし
 中へ移りて出しいさ中へくし



一冊夫代の事も一冊の運脚の如く上二冊を
 たね実をよめあつて射を中矢部人
 あつて中りいふ夫之を討次の中り程中
 中り射を中りいふ実もあつて射を
 中りいふたれ之若くいふ之を次我
 程中出射を中りいふ夫あつて
 らるる前の二つ夫は後負射之は
 各り射之



一冊夫代運脚の事も中りあつて一冊り
 中り中りの夫代之事も中りあつて射を
 中りいふ夫は後負射之は中りあつて
 中り射を中りいふ三つ夫之を討
 中りいふ中り程中射を中りいふ実
 中りいふ射を中りいふ是も三つ夫之
 中りいふ中りいふ之は各り射之



一カ...
 村...
 時...
 傷...
 二...
 傷...
 傷...

一弓掛の移勝負

中
 外
 中
 外
 中
 外
 中
 外

二市 二文
 山 二文
 友二 四文
 大島 九文

中 外 中 外 中 外 中 外 中

二山

変

七夕

七文

山崎

八文

山崎

九文

山崎

十文

中 中 中 中 中 中 中 中 中

有明

十一文

サ

十二文

山崎

十三文

山崎

十四文

山崎

十五文

山崎

十六文

山崎

十七文

山崎

十八文

山崎

十九文

きれと云ふ

一 八中りと云ふ事を見せしむるときは、
セツと云ふ者、
ハ中りと云ふ見せしむるときは、
一的の面、
一的の事、

春

鬼

夏

秋

鬼

冬

鬼

心算書也

一的のか、

春

むか

夏

水

秋

紅葉

冬

松の葉

射上、

一三方

一き

一小角

一か

一子

一の

一か

一葉

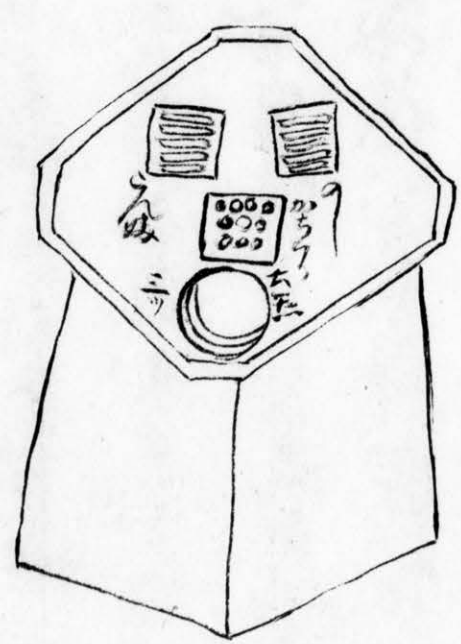
一金

一ツ

一銀

一枚

一枚



心算書也

有るをてに、お後、有る人

文政十三^{庚寅}六月吉

上羽又兵衛

益光

上

九州大學圖書印

百四十九